

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市民プラザ	評価対象年度	平成29年度
事業者名	市民プラザNTJ共同事業体 代表者 野村不動産パートナーズ株式会社 代表取締役 福田明弘 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 構成員 株式会社ティップネス 代表取締役 武信幸次 東京都港区三田3丁目4番10号 構成員 株式会社ITBコミュニケーションデザイン 代表取締役社長 細野顕宏 東京都港区芝3丁目23番1号	評価者	市民文化局市民生活部企画課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	市民文化局市民生活部企画課

2. 事業実績

○前年と同様の取組 ●新規または前年から変更した取組・事項

利用実績	<p>【総利用人数】 458,873人 [H28: 479,995人 H27: 457,315人] <内訳> ・文化施設 131,081人 [H28: 135,524人 H27: 130,375人] (ふるさと劇場、屋内広場、会議室、練習室、茶室、ギャラリー) ・体育施設 185,931人 [H28: 187,743人 H27: 176,143人] (プール、体育館、トレーニング室) ・ふれあい施設 130,495人 [H28: 142,792人 H27: 139,191人] (お風呂、大広間、囲碁将棋室、プレイルーム) ・その他施設 11,366人 [H28: 13,936人 H27: 11,606人] (ふるさとコーナー、特別和室)</p> <p>【健康増進事業】 年間教室 5教室 9,487人 [H28: 5教室 9,477人 H27: 5教室 9,183人] 短期教室 11教室 4,261人 [H28: 9教室 3,771人 H27: 7教室 2,792人]</p> <p>【文化・教養事業】 年間講座 24講座29教室 4,949人 [H28: 24講座29教室 5,060人 H27: 24講座30教室 5,080人] 短期講座 9講座42教室 554人 [H28: 10講座33教室 440人 H27: 6講座23教室 334人]</p> <p>【市民相互の交流事業等】 主催・共催・自主事業 44事業 28,681人 [H28: 44事業 29,797人 H27: 45事業 28,548人]</p> <p>【貸館施設利用率等】 総利用率 35.7% [H28: 38.3% H27: 37.1%] <主要施設> ・ふるさと劇場 35.5% [H28: 35.5% H27: 36.0%] ・会議室 29.3% [H28: 29.9% H27: 30.6%] ・練習室 60.8% [H28: 66.7% H27: 67.4%] ・茶室 29.5% [H28: 33.2% H27: 31.1%] ・ギャラリー 81.8% [H28: 80.1% H27: 82.5%]</p>
収支実績	<p>(1) 収入 464,231,796円 [H28: 462,944,628円] 内訳: 指定管理料 274,848,972円 [H28: 274,848,972円] 利用料金 68,733,530円 [H28: 70,220,775円] 健康増進事業 63,841,120円 [H28: 60,998,630円] 文化・教養事業 27,819,450円 [H28: 27,242,760円] 市民交流事業 2,906,150円 [H28: 2,884,950円] その他 26,082,574円 [H28: 26,748,541円]</p> <p>(2) 支出 432,709,478円 [H28: 428,212,539円] 内訳: 人件費 131,591,441円 [H28: 129,183,612円] 管理費 124,638,554円 [H28: 125,339,250円] 健康増進事業 18,291,523円 [H28: 16,383,174円] 文化・教養事業 14,485,648円 [H28: 14,663,022円] 市民交流事業 2,751,530円 [H28: 2,269,379円] 光熱水費 100,700,824円 [H28: 99,747,766円] 修繕費 9,782,484円 [H28: 10,091,692円] レストラン事業 30,467,474円 [H28: 30,534,644円]</p> <p>(3) 収支差額 31,522,318円 [H28: 34,732,089円]</p>

サービス向上の取組

【施設の管理運営事業】

- インフォメーションカウンターコーナーを拡大し、パンフレットやチラシを充実させた(P.11)。
 - 昨年度の特別和室に続き、今年度は茶室に畳用の和椅子を導入した(P.11)。
 - 不法投棄対策として、投棄物を適宜処分するだけでなく、新たに不法投棄防止用警告看板の掲出、不法投棄される箇所へ立ち入れなくするための衝立の設置、人感センサーライトの設置などを行った(P.13～14)。
 - 盗難防止対策として、利用者へ貴重品ロッカーの利用促進を行うとともに、盗難が発生しやすい時間帯については、これまでの1時間毎の巡回から30分毎の巡回に強化した(P.15)。
 - 館内外での案内版増設、喫煙コーナー案内板の英語・中国語表記などを行った(P.32)。
- 利用者サービスの向上を目的として、ホームページ上で駐車場の当日の満車情報及び月間予測案内を継続して実施している(P.23)。

【健康増進事業】

- 新たに大人の3ヶ月教室として「ポールウォーキング」「ファイティングラッシュ」を開始した(P.1)。
 - 利用者に人気の教室については定員を増やすことにより、多くの人が参加することができ、かつ参加者が増える取組を進めた(P.1)。
 - 大人の3ヶ月教室の利用促進一環として「水中歩行&アクアダンス」「ウォーターラッシュ」「かんたんボクシング」「いきいきワクワク健康体操」「ファイティングラッシュ」の無料体験イベントを実施した(P.4)。
- 教室をお試し体験ができる「ワンコイン体験」を継続して行い、受講者の裾野を広げるよう努め、前年度から423名増の2,064名の参加があった(P.3)。

【文化・教養事業】

- 短期講座「いきいきヨーガ教室」を開始した(P.6～7)。
- 浴衣を着ることを身近に感じてもらうため「浴衣を着よう！！～1DAYゆかた着付けレッスン～」(単発講習)を開講した(P.7)。
- 作品展や舞台発表、お茶会等を合同で行う趣味の教室の発表会を開催した(P.7)。
- 昨年度に引き続いて趣味の教室の募集チラシをリニューアルし、新聞折込や町内会回覧等を行った(P.7)。

【市民相互の交流事業】

- ファミリーミュージカル連動企画を刷新し、通常は入ることができない舞台裏、楽屋、稽古風景を劇団スタッフの案内により見ることができる「バックステージツアー」を行った(P.8)。

【レストラン事業】

- 利用者アンケートの結果、麺類の充実を希望する意見が多数寄せられたことを反映して夏期・冬期限定の麺類メニューを導入したり、通常は開放していないホワイエや和室でのケータリングを利用者の要望に対して可能な限り柔軟に対応するなど、新規集客の開拓や利用者満足度の向上につなげる取組を進めた(P.24～25)。

【自主事業】

- 訪日外国人・隣在住外国人向けの英語通訳付き茶の湯体験を開催した。併せて、フランス人学生観光団体の要望により、フランス語通訳付き茶の湯体験も同日開催した(P.26～27)。
- 地域の方に市民プラザを認知してもらう活動として、短期水泳教室や女性硬式テニス教室を継続して実施した(P.27)。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8
		利用者満足度は高い水準となっているか			
		調査結果の分析を行い、高い満足度を獲得するための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6
		当初の事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>【利用者満足度】 ●窓口や御意見箱、ホームページでの問い合わせのほか、各種講座の受講、貸館利用、各種行事参加時におけるアンケートの実施により、利用者の満足度やニーズ、意見・要望などの把握に努めた。そして、利用者の意見をもとに、茶室への和椅子導入、館内外での案内板増設、喫煙コーナー案内板の英語・中国語表記などを行った(P.32)。</p> <p>○アンケートでは、文化・教養事業(年間・短期講座)で「非常に満足」「満足」の合計が94.3%(H28:95.4%)、施設利用について「非常に満足」「まあ満足」の合計が93.9%(H28:92.8%)となった。</p> <p>また、市民相互の交流行事等事業において、アンケート回答者が「楽しかった」「(大変)良かった」と回答した割合は92.8%(H28:87.4%)と大きく向上した。また昨年、「マジック教室」において「むずかしい」と感じる割合が高かったという課題があったが、今年度のマジックを含む「実験ショー」「自由研究」における「むずかしい」と感じた割合は、参加者の年齢層に合わせた構成にした結果、16%から11.9%となり改善された。</p> <p>レストランにおいては、利用者アンケートの結果を参考にメニュー改定等に積極的に取り組んだ結果、「非常に満足」「まあまあ満足」の合計が昨年度の52.5%から61.1%と向上した。しかしながら、依然として改善の余地があることから、新規メニューの開拓などを行っているが、引き続き今後も利用者ニーズを捉え満足度を向上させるための継続的に取り組むことが必要である。</p> <p>体育事業(大人の3か月教室)についてアンケートを実施した結果、「非常に満足」「まあまあ満足」の合計が97.4%となり、引き続き高い満足度となった(H28:97.3%)。</p> <p>なお、スタッフの対応について「非常に満足」「まあまあ満足」の合計が95.6%(H28:95.3%)となっており、継続して高い水準を維持している(P.8、P.24、P.26、別添資料⑫-2～⑫-6)。</p> <p>【事業成果】 ○事業計画に基づき、文化・教養講座、健康増進講座、各種イベント等を実施した結果、年間の総利用人数は458,873人となった(H28:479,995人、制度導入直前年度からは83,480人増、導入初年度からは52,165人増)。指定管理者制度導入以降過去最高の利用人数となった昨年度と比較すると、漏水等の影響により計30日間の部分休館となったお風呂が9,000人以上の減少となるなど、全体としては微減となったが、トレーニングルームについては、無料の運動初心者向けの「はじめてトレーニング」の実施や、定期券利用者のリピーター増加などにより前年比8.3%増となった(P.29)。</p>					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4.0
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	4	3	2.4
(評価の理由)					
<p>【効率的・効果的な支出】 ○光熱水費について、電気・ガスの単価が上昇したことにより全体の使用料金としては前年度に比べて微増となったが、ボイラーの負荷容量に応じた運転台数調整や排水量調整、冷凍機の負荷用量に応じた運転時間短縮、浴室の流量調整等の様々な対策により使用量を抑えることにより効率的な支出を行った(P.22)。 ○利用促進イベントを無料(「水中歩行&アクアダンス」「ウォーターラッシュ」「いきいきワクワク健康体操」「ファイティングラッシュ」など)で提供することにより、利用者拡大につながる効果的な支出を行った。結果として、今年度の大人の3ヶ月教室の利用者数は前年度に比べて490名増となった。また、当無料イベントを社員スタッフが対応することで効率的な事業運営を行い、事業費削減にもつなげた(P.4～6)。</p> <p>【収入の確保】 ○利用料金収入について、体育室利用区分の4区分制やトレーニング室の3時間制の定着、また無料の運動初心者向けの「はじめてトレーニング」が好評だったことにより、安定的な利用・収入につながる定期券収入が前年度に比べて約60万円の増収となった(P.1、P.12、別添資料⑩)。 ○健康増進事業について、「大人の3ヶ月教室」や教室のお試し体験「ワンコイン体験」の利用者が増加したことなどにより、前年度に比べて約300万円の増収となった(P.3、別添資料⑩)。 ○文化・教養事業の短期講座について、新規講座の開講や利用者から好評だった教室を拡充したことにより、前年度に比べて約110万円の増収となった(P.7、別添資料⑩)。 ○指定管理事業全体として、指定管理料を除く総収入額が前年度から約130万円増加し、年間事業計画予算を約670万円上回った(別添資料⑩、⑪)。</p>					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
サービス向上及び業務改善	適切な事業の実施 (施設の管理運営事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (健康増進事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	3	4.8
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (文化・教養事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切な事業の実施 (市民相互の交流行事等事業)	実施すべき事業内容が仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		実施事業の利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際の事業実施内容に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	3	3.6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由)					
<p>【施設の管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不法投棄対策として、新たに不法投棄防止用警告看板の掲出、不法投棄される箇所へ立ち入れなくするための衝立の設置、人感センサーライトの設置などを行った(P.13)。 ●盗難防止対策として、盗難が発生しやすい時間帯について、これまでの1時間毎の巡回から30分毎の巡回に強化した(P.15)。 ●駐車場での接触事故を防ぐためにポールにトラテープを巻いたり、駐車場後方のレンガ上部にクッションカバーを取り付けたりと、また、障害者駐車場については歩道への乗上げ防止用の縁石を設置し、縁石につまづかないためのコーン・バー、エッジポインタ(夜間時に発光点滅する装置)を設置した(P.13)。 ○イベント、講座、貸館等の情報提供のため、地元町内会・自治会の協力を得て、高津区を中心に中原区・宮前区も含めて現在50町内会(約4,500部、約49,400世帯)を対象に回覧を実施している(P.9)。 ○ホームページでは、各種講座・イベントの開催情報等を掲載しているが、継続的な広報活動により、閲覧数241,458回(H28:245,568回)、ユーザー数179,561人(H28:178,300人)、Facebookの「いいね!」件数521件(H28:461件)となっており、ユーザーとFacebookの「いいね!」については引き続き増加している(P.9)。 <p>【健康増進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業全体としては第2期当初に計画した受講予定者数には届かなかったが、年間教室は9,487人(H28:9,477人)とほぼ昨年並みの参加者数となり、大人の3ヶ月教室については、新たな教室「ポールウォーキング」「ファイティングラッシュ」の導入など、新規利用者獲得に向けた取組を継続的に行ったことにより、年間延べ受講者数は4,261人(H28:3,771人)となり昨年度から約13%増となった(別添資料①)。 <p>【文化・教養事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年間講座の受講者数は4,949人(H28:5,060人)と微減だったが、短期講座については、新規に「いきいきヨーガ教室」を開設し、また利用者から好評だった教室を拡充した結果、受講者数は554人(H28:440人)となった(別添資料②)。 ●利用促進を目的に、趣味の教室の募集チラシをリニューアルし、新聞折込や町内会等での回覧を実施した(P.7)。 <p>【市民相互の交流行事等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国人向け(英語・フランス語)茶の湯体験など新規事業を含む計44事業を実施し、28,681人(H28:29,797人)の参加があった(別添資料③)。 ○「新作第一町内会納涼盆踊り大会」、「橘ふるさと祭り」等の地域とのつながりが深いイベントを主催者と信頼関係を深めながら実施した(P.8)。 ○人形劇に関する国内有数のイベントとして認知されてきた「人形劇まつり」については、実行委員会方式により多くの関係者との協力を深め、参加者数が7,418人となり(H28:6,973人)、29年度の市民相互の交流行事等事業の中で最も集客数が多いイベントに成長した(P.8)。 <p>【利用者の意見・要望への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意見要望に対しては、速やかに館内スタッフ同士で情報共有を行っている。改善できるものに対しては、速やかに検討、改善し、利用者の満足度向上を図っている(P.32)。 ●今年度は、利用者の要望をもとに、茶室への和椅子常設、館内外でのご案内版の増設、喫煙コーナー案内板の英語・中国語表記などを実施した(P.32)。 					

分類	着眼点	配点	評価段階	評価点	
組織管理体制	適性な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	6	4	4.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	4	3	2.4
(評価の理由)					
<p>【担当者のスキルアップ】 ○外部講師を招いてフロント担当サービスセクション及び事業セクション全員に接客研修を実施、基本的な接客業務全般を復習するとともに、来館・電話での問い合わせ対応について上位水準のスキルをレクチャー、ロールプレイングによる実践形式にて体得することで顧客満足度向上に取り組んだ(P.28)。</p> <p>【安全・安心への取組】 ○プールエリアでは、監視体制を2ポジションとしているが、夏季の繁忙期には監視員を増員して利用人数に適宜対応できる体制を取っている(P.12)。 ○プールエリアの安全確保・事故防止のため、監視員全員はトランシーバー、メガホン、笛を携帯し、直ちに周知できる体制を整備している(P.12)。 ○消防訓練を2回(9月・3月)実施した。9月は高津消防署と連携して総合防災訓練及び水消火器による初期消火訓練を実施した。3月は総合防災訓練に加え、屋内消火栓操法訓練を実施して施設スタッフ全員が屋内消火栓操法を再確認し、火災発生からの初動がスムーズに行えるように訓練を行った(P.15)。 ○安全管理マニュアルに沿って、体育施設の全従業員は年2回、CPR(心肺蘇生法)・AED使用方法の訓練を義務づけて実施しており、また、水難救助・避難訓練も同様に最低年2回実施している(P.28)。</p> <p>【コンプライアンス】 ○個人情報保護方針(プライバシーポリシー)の施設内掲示・ホームページでの公表を行っている。また、館長を責任者とした責任の所在を明確にした体制を構築し、個人情報を取り扱う手順や保管方法に関する規定とマニュアルの整備、スタッフへの周知徹底を図っている(P.32～33)。</p>					

適 正 な 業 務 実 施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	4	3	2.4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	3	2.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	駐車場管理業務	駐車場を安全・快適・適正に管理・運用できているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由)					
<p>【施設・設備の保守管理】 ○耐用年数が過ぎている設備が多い中で、不具合や小規模な設備破損の発生に迅速・的確に対応するとともに、設備機器の現状や特徴を把握しつつ機能の維持と着実な運用を実現した(P.18～19)。</p> <p>【清掃業務】 ●月に一度、クリーンデーと称して共同事業体3者が集まって敷地内のゴミ拾い活動を行った。また、庭園内の階段にコケが生えて転倒する恐れが生じたため、すぐに薬剤と高圧洗浄にて清掃作業を行うなど、施設全体の清潔を保った(P.19～20)。</p> <p>【警備業務】 ●盗難事件防止のため、貴重品ロッカーの利用促進に併せて、盗難事件が発生しやすい時間において、これまで1時間毎に行っていた巡回を30分毎に頻度を強化して実施している。(P.15)。</p> <p>【駐車場管理業務】 ●駐車場での接触事故を防ぐため、ポールにトラテープを巻いたり、駐車場後方のレンガ上部にクッションカバーを取り付けるなどの対応をした(P.13)。 ●歩道に車両が乗り上げるのを防ぐため、障害者駐車場への縁石を設置し、併せて、縁石につまづかないようコーン・パー、エッジポインタ(夜間になると発光点減する装置)を設置した(P.13)。</p> <p>【外構・植栽管理】 ○市民プラザ敷地外周の中高木に重点を置いて剪定と伐採を行った(P.21)。 ●近隣からの改善要望により、東門臨時駐車場周辺の高木(クスノキ)3本を伐採した(P.21)。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	70.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

注) 評価点：100点満点。評価ランク：5段階評価

A：80点以上 B：70点以上80点未満 C：60点以上70点未満 D：50点以上60点未満 E：50点未満

A：特に優れている B：優れている C：適正である D：改善が必要である E：問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市民プラザは、昭和54年の開設以来33年間にわたり、財団法人川崎市指定都市記念事業公社が所有してきたものを、公社解散に伴い市が寄贈を受け、平成24年度から指定管理者制度を導入し6年目となる。

その中で、様々な工夫を重ねつつ円滑・適正に事業を執行し、利用促進に努めたことにより、年間の総利用人数は458,873人となり、指定管理者制度導入後過去最高の利用人数となった昨年度からは微減となったものの、安定的な運営を継続したことは評価できる。

特に、トレーニングルーム、大人の3ヶ月教室については、利用者数がそれぞれ前年比8.3%、13.0%増となり、運動初心者向けの無料の「はじめてトレーニング」の実施や、新規教室の開講など、利用者目線に立った取組や新たなニーズの獲得への取組が確実に結果として表れていると考えられる。

一方、施設自体は開館から約40年が経過しているにもかかわらず、これまで大規模な改修・改善が実施されてこなかったことから、ほとんどの設備機器が耐用年数を超えており、年間を通じて各所で不具合等が発生する状況にある。ただし、そのような中でも不具合が生じた際には、利用者への影響を最小限にとどめるよう迅速な対応に努め、適切なメンテナンス等を実施したことは、円滑な施設運営に大きく貢献したと考えられる。

また、情報発信については、近隣町内会・自治会への広報資料の配布やホームページ、SNSの活用など、様々な媒体を活用した広報活動を行うだけにとどまらず、町内会・自治会への資料配布にあたっては、町内会長・自治会長宅に直接持参を原則とし、郵送の場合も含めて事前に電話で連絡するなど、地元との信頼関係の構築に努めている点が評価できる。

当施設は市民相互の交流の場であり、かつ施設周辺の市民が多く利用する施設であることから、今後も地域とのつながりが深いイベントや市内小中学校の施設見学・職場体験等への協力、地元住民とのタイアップ事業など、より一層、地域に浸透し愛される存在となるような事業の推進・拡充が望まれる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・事業計画における収入・支出予定額の精度を高め、引き続き事業計画に基づいた適切な事業の執行に努めること。
- ・利用者満足度調査や貸館利用者調査などを参考にし、利用者の実態を把握して、リピーターの確保にとどまらず、新規利用者の開拓・獲得につながるよう、利用しやすい環境づくり及び魅力のある教室・講座内容とするよう努め、併せて周知・PR活動も行うこと。
- ・利用者満足度調査等により把握された市民相互の交流事業、レストラン事業における課題に対応した取組を図ること。
- ・地域にとって魅力ある施設となるために、引き続き地域との連携を図ること。
- ・有料駐車場の適正な運用を実現するための新たな改善策を検討するとともに、イベント開催時等における自家用車以外の交通手段による来館の促進策を検討すること。
- ・設備機器のメンテナンスや備品管理などの施設の維持管理業務や館内の植栽管理業務について、継続して適切かつ安全に配慮して処理を行うこと。
- ・隣接する橋処理センター整備事業に伴う影響や施設の長寿命化に向けた工事対応について、適宜関係局と情報共有・協議を行うこと。